燃料デブリ取り出し準備　スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		備　考
燃料デブリ取り出し準備	共通		（実　績） （予　定）		
	建屋内除染	建屋内の除染	（実　績） ○【研究開発】遠隔除染装置の開発 ・模擬汚染試験準備 ・模擬汚染試験片の妥当性確認 ・模擬汚染試験片による除染試験 ・除染装置の設計 ・汚染状況評価 （予　定） ○【研究開発】遠隔除染装置の開発 ・模擬汚染試験準備（継続） ・模擬汚染試験片による除染試験(継続) ・除染装置の設計（継続） ・除染装置の製作・手配 ・汚染状況評価（継続） ○【研究開発】総合的線量低減計画の策定 ・作業エリアの状況把握 ・原子炉建屋内の作業計画の策定 ・爆発損傷階の作業計画の策定	検討・設計 【研究開発】模擬汚染試験準備（検討・模擬試験片製作） 【研究開発】模擬汚染試験片の妥当性確認 【研究開発】模擬汚染試験片による除染試験 【研究開発】除染装置の設計 【研究開発】除染装置の製作・手配 【研究開発】汚染状況評価（JAEAでの分析含む） 工程見直しによる前倒し（1月→12月） 【研究開発】総合的線量低減計画の策定 現場作業	模擬汚染試験片の作成は確認試験が終了する1月まで継続実施。 除染装置の製作は1月までに製作し、その後工場でのモックアップ試験まで行ない、H25.1～3に2Fにて実証試験を行なう。
	格納容器漏えい箇所調査・補修	格納容器 (建屋間止水含む) 漏えい箇所の 調査・補修	（実　績） ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 ・漏えい箇所調査装置の検討 ○【研究開発】格納容器補修装置の設計・製作・試験等 ・漏えい箇所補修工法の検討 （予　定） ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 ・漏えい箇所調査装置の検討（継続） ○【研究開発】格納容器補修装置の設計・製作・試験等 ・漏えい箇所補修工法の検討（継続）	検討・設計 【研究開発】漏えい箇所調査装置の検討 ▼11/3 外部専門家委員会　▼11/12 公募開始 【研究開発】漏えい箇所調査装置設計 【研究開発】漏えい箇所補修工法の検討 【研究開発】漏えい箇所補修装置概念検討　▼11/18 外部専門家委員会 ▼11/26 公募開始 ▼11/9　第3回水中遊泳ROV・WG（TF） 現場作業 工程調整中 三角コーナー滞留水調査（1～3号） ベント管下部周辺調査（予備調査）（2号） トーラス室内滞留水調査（1，2号） 工程調整中	
	燃料デブリ取出し	燃料デブリの 取出し	（実　績） ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発 ・調査方法の詳細検討 （予　定） ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発 ・調査方法の詳細検討（継続） ・PCV事前調査装置設計・製作	検討・設計 【研究開発】調査方法の詳細検討 【研究開発】PCV事前調査装置設計・製作 現場作業	
	RPV／PCV健全性維持	圧力容器 /格納容器の 健全性維持	（実　績） ○【研究開発】圧力容器／格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発 ・原子炉容器構造材の基本条件での腐食試験 ・原子炉容器構造材の高温履歴や塗装，溶接影響を考慮した腐食試験 ・ペデスタルコンクリートのサンプル養生 ・ペデスタルコンクリートサンプルの加熱処理・切断 ・原子炉容器・ペデスタル構造物余寿命評価 ○腐食抑制対策 ・窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施 （予　定） ○【研究開発】圧力容器／格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発 ・原子炉容器構造材の基本条件での腐食試験（継続） ・原子炉容器構造材の高温履歴や塗装，溶接影響を考慮した腐食試験（継続） ・ペデスタルコンクリートサンプル塩水浸漬、鉄筋腐食試験（継続） ・原子炉容器・ペデスタル構造物余寿命評価（継続） ○腐食抑制対策 ・窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施（継続）	検討・設計 【研究開発】原子炉容器構造材の基本条件での腐食試験 【研究開発】原子炉容器構造材の高温履歴や塗装，溶接影響を考慮した腐食試験 【研究開発】ペデスタルコンクリートサンプル塩水浸漬、鉄筋腐食試験 【研究開発】原子炉容器・ペデスタル構造物余寿命評価 現場作業 腐食抑制対策（窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減）	

燃料デブリ取り出し準備　スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		１０月	１１月	１２月	1月	2月	備　考
					21 28	4 11 18 25	2 9 16 下	上 中 下	前 後	
	炉心状況把握解析	炉心状況 把握解析	（実　績） ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析 ・事故時のプラント挙動の分析に必要な情報の整理 ・海外との協力の在り方に関する検討 ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化 ・現在のシビアアクシデント解析コードの能力と限界の確認 ・解析コードの高度化を効率的に実施するための枠組みの検討 ・解析コードの高度化すべきモデルの絞り込みとその仕様の検討 ・高度化前の解析コードによる予備解析の実施 ・新規モデルの追加とその有効性の評価 （予　定） ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析 ・事故時のプラント挙動の分析に必要な情報の整理（継続） ・海外との協力の在り方に関する検討（継続） ・高度化前の解析コードによる予備解析の実施（継続） ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化 ・現在のシビアアクシデント解析コードの能力と限界の確認（継続） ・解析コードの高度化すべきモデルの絞り込みとその仕様の検討（継続） ・新規モデルの追加とその有効性の評価（継続）	検討・設計	【研究開発】事故時プラント挙動の分析 【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化 ▼OECD/NEA ベンチマーク 第1回WS ▼ 第4回実施委員会					
				現場作業						
	取出後の燃料デブリ安定保管処理・処分（JAEA）	模擬デブリを用いた特性の把握 デブリ処置技術の開発	（実　績） ○【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・模擬デブリ作製条件の検討 ・模擬デブリ作製と特性評価試験 ○【研究開発】デブリ処置技術の開発 ・処置候補技術調査・検討 （予　定） ○【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・模擬デブリ作製条件の検討（継続） ・模擬デブリ作製と特性評価試験（継続） ○【研究開発】デブリ処置技術の開発 ・処置候補技術調査・検討（継続）	検討・設計	【研究開発】模擬デブリ作製条件の検討、模擬デブリ作製と特性評価試験 ・炉内情報の収集によるデブリ生成状況の推定 ・模擬デブリ作製条件検討、MCCIデブリ条件・計画検討 ・機械的物性（硬度）の測定、福島特有事象の影響評価 【研究開発】処置候補技術調査・検討					
				現場作業						

凡　例

	：	検討業務・設計業務・準備作業
	：	状況変化により、再度検討・再設計等が発生する場合
	：	現場作業予定
	：	天候状況及び他工事調整により、工期が左右され完了日が暫定な場合
	：	機器の運転継続のみで、現場作業（工事）がない場合
	：	2013年2月以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載
	：	工程調整中のもの